

<英語語法マスター⑫> 名詞の語法②

① 常に複数形をしている名詞と数の一致

名詞の中には常に複数形をしているものがある。そうした名詞が単数扱いなのか複数扱いなのかもセットでおさえる!

< mathematicsタイプ >

- ① () 「経済学」 / ② () 「倫理学」 / ③ () 「ニュース」
 ④ () 「数学」 / ⑤ () 「物理学」
 ⑥ () 「はしガ」 / ⑦ () 「ビリヤード・玉突き」

・上記の各語は () 扱いが普通!

The news is bad today. 「今日のニュースは悪い」

< scissorsタイプ >

- ① () 「めがね」 / ② () 「ズボン」 / ③ () 「ズボン」
 ④ () 「めがね」 / ⑤ () 「ハサミ」

・上記の語のように、二つの等しい部分が一つになっている服飾用品や道具名は常に () で用いる。() 扱いが基本だが () 扱いもある。

Where are my trousers? 「私のズボンはどこにある?」

・これらの名詞は these・those などの () の修飾語を伴う。数えたいときは () を使う!

These scissors are [This pair of scissors is] sharp. このハサミはよく切れる。

< meansタイプ: 複数形で特別な意味となるモノ > → () 扱い

- ① () 「武器」 / ② () 「気取った様子」 → () 「気取る」
 ③ () 「軍隊」 / ④ () 「関税・税関」 / ⑤ () 「商品」
 ⑥ () 「文学」 → () 「文学者」
 ⑦ () 「礼儀作法」 / ⑧ () 「資産・収入」 ← ④・⑤
 ⑨ () 「苦勞・骨折り」 → () 「苦勞する」 どちらも可
 ⑩ () 「よろしくというあいさつ」 → 「Aによろしくと伝える」
 → () = ()
 ⑪ () 「気分」 → () 「上機嫌である」
 ⑫ () 「工場」

2 形は単数でも複数で受ける集合名詞

< 単複両用の扱いをするタイプ >

- ① () 「聴衆」 / ② () 「クラス」 / ③ () 「委員会」
 ④ () 「乗組員」 / ⑤ () 「群衆」 / ⑥ () 「家族」
 ⑦ () 「政府」 / ⑧ () 「陪審員」 / ⑨ () 「チーム」

・上記の語は、これらの集合体を一つの単位としてまとめて考えるときは () で受けるが、それらを構成する個々のメンバーを考えていときは () で受ける。

(O) There was a large audience at the concert.

(X) There were many audiences ... 「コンサートの聴衆は大勢だった。」

(O) My family are all very well. 「家の者は皆とても元気だ。」

< 常に複数扱いをするタイプ >

- ① () 「牛」 / ② () 「人々」 / ③ () 「警察」

・上記の語は、形は単数でも常に () で受ける!

The police were looking into the case. 「警察はその事件を調査した。」

・このタイプは、形は単数だが (/) をつけることはなく、また () にはならない。the をつければ総称の意味になる。

・people は「人々」の意味で使うときはこのタイプになるが、「」の意味では単数なら a がつくし、複数なら peoples となる。

the police 「警察」 a policeman 「(個々の) 警官」

3 「客」を表す名詞

① ()	「(弁護士・建築家などの) 依頼人」
② ()	「商店・レストランの客・顧客」
③ ()	「招待客・ホテルの宿泊客」
④ ()	「乗客」 / ⑤ () 「訪問客・来客・見舞客」
⑥ ()	「(劇場などの) 観客・観衆・聴衆」
⑦ ()	「(スポーツなどの) 観客・見物人」 / ⑧ () 「患者」